

カリスマリーダーは「ユニゾン」か？

お酒の席等で時々こういう声が聞かれます。「今のリーダー（※当時の首相や市長等）にはカリスマ性がないんだよ。今の時代、カリスマリーダーが必要だよ。」私は違う意見です。結論から言います。全世界探しても、そんな人はいません。2000年前等であれば分かりませんが、(vol. 37, vol. 38 「いき過ぎた部分最適化社会の罪」でも少し述べましたが)高度に複雑化した現代社会において、全てのジャンルでみんながみんな望むもありもしない正解を提示する事はできないからです。そして二言目にはこう言われます。「カリスマ性のあるヤツがいないから、選挙に行かなかったよ。いつも俺は行かないよ。」その考え方は間違っています。私は「間違っている根本的な要因は『政治家は政治サービスの提供者で、有権者は投票と税金を対価に政治サービスを消費する。』という間違えた認識があるからではないか。」という仮説を持っています。有権者が自らを政治サービスの消費者としてイメージするから「いらぬ物は買わない。」という姿勢になってしまいます。そして「欲しい物がないから投票しないのは当然。」という姿勢になる。当たり前ですが、有権者は消費者ではありません。昔は国王等に主権（※政治を決定する権利）がありました。私たち全員に主権を移すことで近代の民主主義は始まりました。つまり私たちは、政治サービスの消費者ではなく、責任者です。では、私たちはどういう心気で社会を見つめ直せば良いでしょうか。そこにこそ、現在の社会に感じる閉塞感を打破するきっかけがあります。：紙面の都合もありますので、次々回以降、少し違うテーマで改めて述べさせていただきます。現状が困難だからこそ、その先にみんなの幸せがあるのではないかと：試行錯誤の毎日です。難しいテーマである事は重々承知しているのですが、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「今後も住み続けてみたい市川市」を思い描き、話し合ってみてください。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成26年2月20日

増田好秀